

授業科目 地域文化学特論 I	単位 2 単位
授業担当者 野林 厚志	授業期間 前期
授業の題目と概要 物質文化研究の諸相：考古学からマテリアリティ研究まで The aspects of material culture study: from archaeology to materiality study	
授業の内容と計画 考古学とエスノアーケオロジー 民具学と考現学 博物館資料：コピーの問題 博物館資料：ハンズオンの是非 博物館資料：資料返還の課題 ユニバーサルデザインとインクルーシブデザイン ビジュアル・アナロジーとタンジブル・インターフェイス アクターネットワークとエージェンシー論 マテリアリティ研究 以上のようなメニューを用意している。参加者の顔ぶれを見ながら内容の詳細を決める。 参加者には自分が研究の対象としている地域や分野における物質文化に関する発表もしくはそれに関する先行研究の論文の解説を行ってもらい機会を設ける。近年、さまざまなかたちで、物質文化研究が再評価されているようだが、ものの研究の基本は、実際にものを観察し、手に取り、その形状を把握し、それが人々にどのように認識され、どのように扱われているかを理解することを前提とした講義である。	
使用する参考書、参考論文等	
成績評価基準	
その他の留意事項	